読響

交響

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

読売日本交響楽団 演奏会



©Atsushi Yokota

原田慶太楼

Conductor【指揮】

Keitaro Harada

国内外で絶賛される
気鋭の名指揮者。
クラシック音楽界の
次世代を担う逸材。

2026
8/29(土)

開場/13:15　開演/14:00

三重県文化会館 大ホール



［管 弦 楽］読売日本交響楽団

©読売日本交響楽団

小林海都

Piano【ピアノ】

Kaito Kobayashi

若手ピアニストの登竜門・
2021年リーズ
国際ピアノコンクール第2位。
精緻な表現力で国際的に高く
評価される俊英。



©MasashiEndo

Program【プログラム】

ウェーバー：歌劇「魔弾の射手」序曲
シューマン：ピアノ協奏曲
ドビュッシー（ビュッセル編曲）：小組曲
ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ
デュカス：魔法使いの弟子

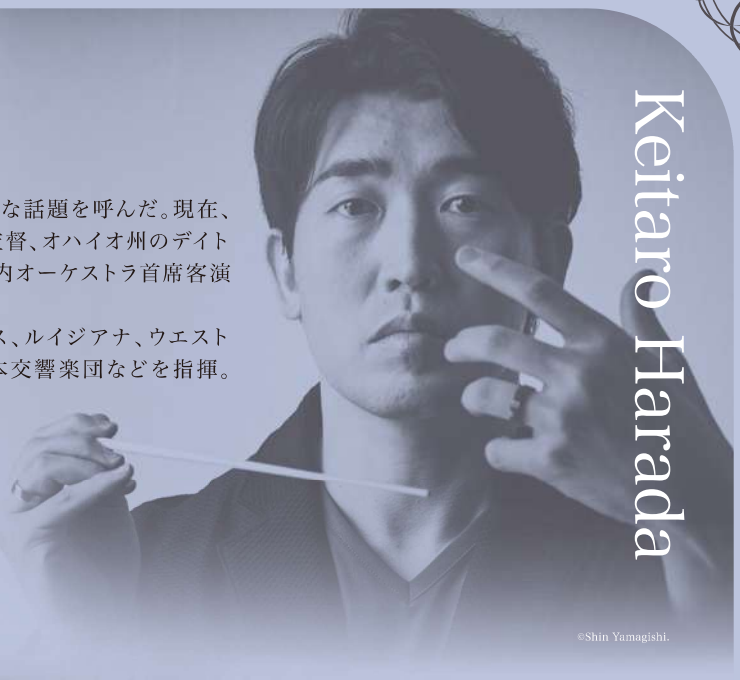
※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目・開演時間等に変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。※未就学児のご入場、開演後のご入場は　お断りいたします。

主催 ： 公益財団法人 岡田文化財団

読響

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

読売日本交響楽団 演奏会



【指揮】原田 慶太楼

日欧米を中心に目覚ましい活躍を続けている期待の俊英。
2024年テレビ『情熱大陸』で活動の様子が放映され、大きな話題を呼んだ。現在、アメリカのサヴァンナ・フィルハーモニックの音楽 & 芸術監督、オハイオ州のデイトン・フィルハーモニック管弦楽団の音楽・芸術監督、愛知室内オーケストラ首席客演指揮者兼アーティスティック・パートナーを務めている。
シンシナティ、ヒューストン、インディアナポリス、メンフィス、ルイジアナ、ウエストバージニアなどの楽団、国内でもNHK交響楽団、読売日本交響楽団などを指揮。
オペラでもジェームズ・レヴァインやロリン・マゼールのアシスタントを務めてキャリアを積み、アメリカ各地、ブルガリア国立歌劇場、日生劇場などで活躍。これまでにタングルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、米国ショルティ財団キャリア支援賞6度、23年に日本人初のトップのコンダクター賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞などを受賞している。また、子供たちに本物の音楽を届ける企画や日本人作曲家の作品を世界に広める活動などにも力を入れている。



読売日本交響楽団

1962年、クラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。創立以来、世界的な指揮者、ソリストと共演を重ねている。現在、ドイツの名匠S.ヴァイグレが常任指揮者を務め、東京のサントリーホールや東京芸術劇場などで演奏会を多数開催。2017年サントリー音楽賞、22年文化庁芸術祭大賞、25年三菱UFJ信託音楽賞を受賞。演奏会などの模様はBS日テレ「読響 粗品と絶品クラシック」などで放送中。



【ピアノ】小林 海都

1995年神奈川県横浜市生まれ。幼少より合唱と声楽を学び、4歳からピアノを演奏。ヤマハマスタークラス特別コースに在籍し、上野学園高等学校音楽科演奏家コース（特待生）卒業。2014年から16年までエリザベート王妃音楽院に在籍してマリア・ジョアン・ピリスに師事し、16年からバーゼル音楽院に在学しクラウディオ・マルティネス・メーナーに師事。21年イギリスで行われたリーズ国際ピアノコンクールにて46年ぶりに日本人歴代最高位の第2位及びヤルタ・メニューイン賞(最優秀室内楽演奏賞)を受賞。
更に24年浜松国際ピアノコンクール第3位入賞。これまでにドイツのエトリンゲン国際青少年ピアノコンクールのカテゴリーB(20歳以下の部)にて歴代最年少優勝及びハイドン賞、ポルトガルのサンタ・チェチーリア国際ピアノコンクールにて第3位、東京音楽コンクール第2位、松方ホール音楽賞などを受賞している。NHK交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、バーゼル交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団など国内外の多数のオーケストラと共演している。

公益財団法人 岡田文化財団　〒510-1245 三重郡菰野町大羽根園松ヶ枝町21-6（パラミタミュージアム内）　TEL059-394-7577